

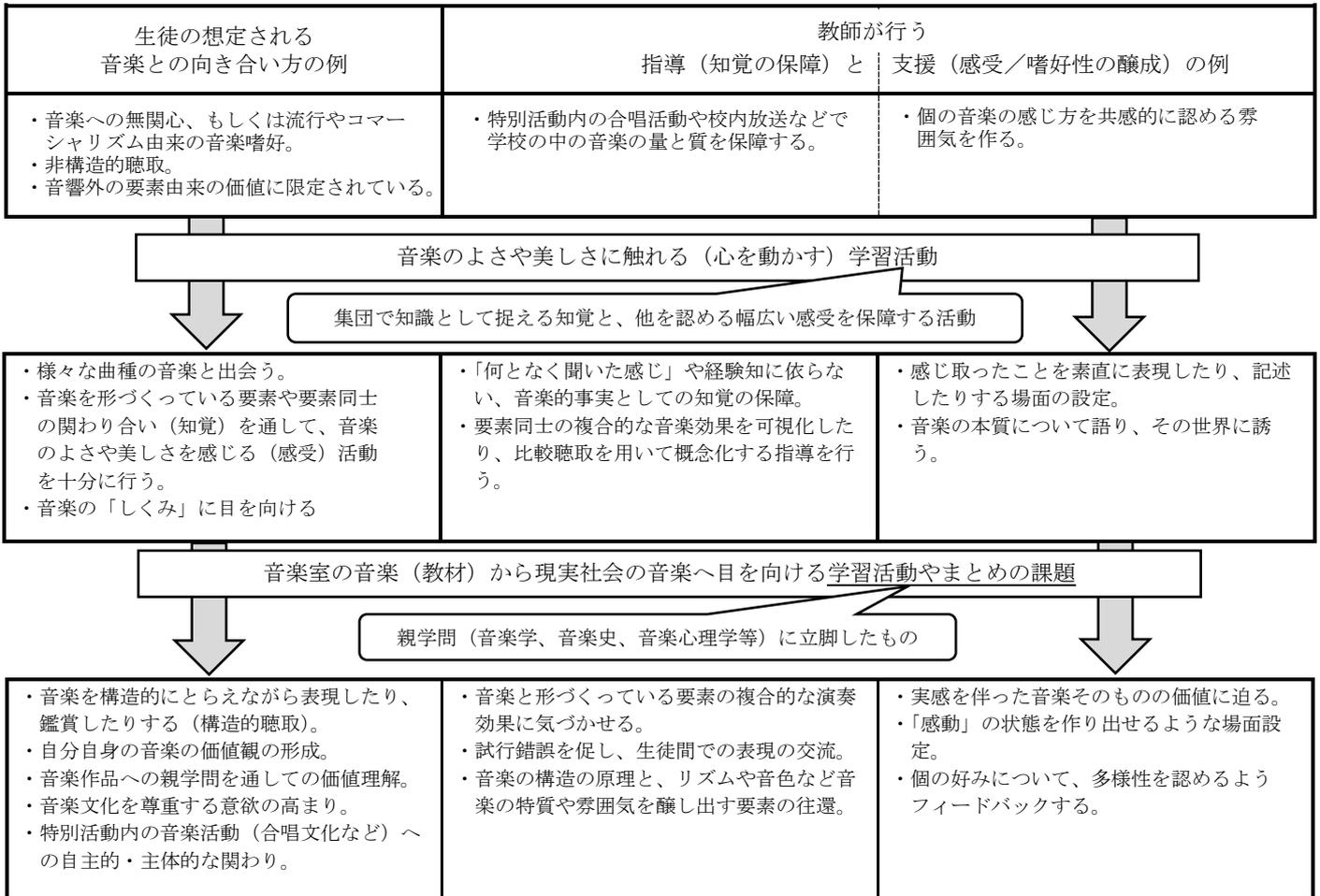
# 心を動かし、音楽と向き合う生徒の育成

音楽科 赤沼周子

## I 研究主題設定の理由・設定に至った経緯・研究

- ①従前の研究主題「音楽と向き合い、『心を動かし』生徒の育成」では、具体的教育活動と順序が逆になるため、研究主題を修正した。
- ②生徒が音楽室で働かせる見方・考え方をもって音楽の価値を判断する感性（音楽性）が、集合知として 社会の中の音楽文化を捉える際に発揮されていないことが課題である。
- ③表面的な知覚・感受に留まり、最適解が生徒の中で暗に分かってしまう活動が多い。人間としての軸を揺さぶられ、音楽を通して人間に触れる（心を動かし）活動に転換が必要。
- ④音楽室のみで通用する、教材曲に終止する授業からの脱却。新たなカリキュラム（題材構想）が必要である。

## II カリキュラム（題材）構想の基本的な考え方



## III 育成を目指す資質・能力

①思考力等	②協調性等	③主体性等
自分自身の既有的知識や概念、技能を関連付けながら、思考、判断、表現し、課題解決に向かう力。	他者との対話を通して、異なる視点からの考えを聴き合い、自分の考えを再構築したり、合意形成を図ったりしようとする態度。	身の回りの事象の価値や問題に気が付く感性。その問題に正面から向き合い、自分が解決すべき課題にしようとする態度。
自らの感性を働かせ、「好み」を自覚しながら、音楽の特徴を深く知覚・感受する力。	他者の表現や意見に耳を傾け、また、音楽のよさや美しさを知覚・感受し、自らの表現や聴き方に活かす力。	自分や社会にとっての音楽の意味や価値を追求しながら、よりよく表現しようとし、深く味わって聴こうとする力。
「心を動かし」	音楽と向き合う	
よく考え、	誠をもって働く人間	